



今月の聖句

『あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が“受けるよりは与える方が幸いである”と言われた言葉を思いだすようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。』
使徒言行録 20章 35節

会長	幡南進
副会長	香山章治
	西川欽一
書記	田中雅博
	椿森昌史
会計	石倉尚
	五十嵐由紀

クラブ主題

継往開来 —クラブライフの充実—

- 国際主題: I P Wichian Boonmapajorn (タイ) “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
- アジア主題: A P Edward K. W. Ong (シンガポール) “Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
- 西日本区主題: R D 遠藤通寛 (大阪泉北) 「あなたならできる! きっとできる」 “You can do it! Yes, you can!”
- 京都部主題: D G 高田敏尚 (京都) 「いつでも喜んでいなさい」 ~Be joyful always~
- メネット主題: RSD 遠藤典子 (大阪泉北) 「メネットと共に メネットはワイズの応援団」



「喜び・祈り・感謝」

京都部部長 高田敏尚(京都クラブ)

部長主題: いつも喜んでいなさい(Be joyful always)

この言葉を聞いて、「上から目線やなあ」と何人かの人に言われました。自分ではそんなに思っていなかったのですが。実は、この主題の言葉は聖書からとりました。聖書には、イエスの生涯を記した書物と、弟子や信徒(ペテロとパウロですが)が各地の人びとに書き送った手紙からできています。この言葉は、パウロがテサロニケという所にいた人びとに宛てた手紙にあります。いまは「テッサロニキ」と呼ばれていますが、エーゲ海に面したギリシャ第2の都市です。

ところで、私たちはいつも喜んでいられるわけではありません。いや、それどころか苦しいことでいっぱいです。ワイズの活動はどうでしょうか。楽しい所に人は集まってくるといいます。人と話せる、クラブでいろいろなことを任される、一人ではできない奉仕活動ができる……そんなことは楽しいはずですが。

楽しい、この字のたのしきは、にぎやかな音楽が流れているように心がうきうきしてくるようです。その楽しさが心の中から愉しいと思える、自分の中でしっかりした信念が確立する、

それがワイズダムというものかもしれません。

熙キという字が、あります。この字もたのしいという意味があります。そして、そのたのしきには、光をひろく行きわたせるとか、なごやかに喜びあうという意味が含まれています。

いろいろなきっかけでワイズに集まってきたメンバーが、ここでのたのしさを他者に伝えていく。利害を超えた信頼関係のなかで、ともに社会的に意味のある事業を行っていく、こんなおとなの居場所はたのしいものであり、ひろめる、他者にもお勧めできるものではないでしょうか。

そして何より自分が喜びに満たされている必要があるのではないのでしょうか。他人からみて、あいつ、なんかいいやつやなと思われるのは、その人のもつ喜びとは無関係ではないでしょう。聖書には私が選んだ主題の「いつでも喜んでいなさい」に続けて「絶えず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい。」と書かれています。喜び、感謝そのような言葉や行いで溢れる京都部の1年であつたらいいと思っています。

聖句の解説 「受けるよりは与える方が幸いである。」パウロがイエスから言われたというこの言葉は福音書には記されていません。しかしイエスの生き方、そしてイエスの死そのものがまさにそのような、与える生き方でありました。私たちもそのように生きることができたらと思います。でも与えるということは私たちにとても難しいことです。

私たちはどんな小さなものをも手放したくないと思っているし、いつも何かを奪い取ることをばかりに考えるようにできているように感じられます。しかし与える生き方は他者との関係を作ります。一方、独り占めする生き方は他者との関係を断ち切っていきます。そのことを主イエスは五つのパンと二匹のさかなを大勢で分け合つて食べることで教えられました。そこでパンとさかなが増えたことが表していることは、そこに神様からの祝福が与えられたということでしょう。

「幸いである」という言葉は、「祝福がある」という意味です。私たちが「与える」のは私たちが自己満足で気持ちよくなるためではなく、みんなが神の祝福を受けるためです。YMCAならびにワイズメンズクラブもまさにそのために存在しているのではないのでしょうか。

西日本区
強調月間

8月 Youth Activities

若者(ユース)に、YMCA やワイズメンズクラブについてもっと知ってもらい、互いに共感や連携のできるプログラムを推進しましょう。

河合久美子 Yサ・ユース事業主任 (京都ウエストクラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ等でクラブ内外の人達にアピールしましょう。

加藤信一 広報・情報委員長 (京都トップクラブ)

7月報告



例会出席

在籍者数	41名
第一例会	35名
第二例会	32名
メイクアップ	3名
出席率	92.7%



BFポイント

切手	0g
現金累計	0円
E F	0円
J W F	0円
EF・JWF累計	0円



ニコニコ

6/29(リトセン夏あと会お釣り)	累計	0円
第一例会		6,447円
第二例会		11,000円
累計		19,894円



ファンド

累計 0円



献血

献血成分累計	0cc
成分累計	0名



130周年募金

第一例会	4,110円
第二例会	4,111円
累計	8,221円
東日本大震災復興募金	
第一例会	3,818円
第二例会	2,959円
累計	6,777円

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

一年の計は「総会」にあり

交流委員 山田 英樹



幡南さん、
会長デビュー

五節句のひとつ『七夕』。織姫さんと牽牛さんが出会うとされるこの目出度き節目の日、我々がキャピタルクラブも新たな旅立ちを迎えました。そうです、幡南進会長率いる新たなキャピタルクラブのスタートです。

2015年7月7日19時00分。初めての点鐘のその瞬間、比叡の間の緊張はマックスに達しました。続いて初めての会長挨拶、どんなに多くの人前で話すより緊張するあの瞬間、経験された方は我が事のようにドキドキしていたことでしょう。

AYCオープン委員会のお話。認知症にとっても良い効果のあるというバースデープレゼントのアロマオイルのお話。そしてそれを選んだ会長ご自身の忘れ癖のお話などかなり事前に採みこまれたお話の数々心なしか『あの一』が多かったのは、肝の座った新会長とも言えどもさすがに緊張されていた表れなのでしょうね。

例会内容も盛りだくさんです。仁科保雄さんに、奈良傳賞資格審査委員の委嘱状が手渡され、菅原樫一直前会長より京都YMCA125周年募金と東日本大震災募金の贈呈が、そしてアジア大会においてキャピタルクラブがお役目をいただいたユースコンポジションの決起集会のお知らせ。そしてこの日のメインプログラムである総会の開催へと続きます。

近年は静かな総会が多く、ともすれば予定調和的になっているようにも感じていたのですが、この日声を上げて下さった岡本尚男さんの提言には、若いメンバーを叱咤激励する。そんな意味も込められていたのかもしれませんが。

『継往開来』。辞書を引いてみると『先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くこと。』とあります。毎年感心しかりなのですが、今年もやはりすばらしい主題です。まさにキャピタルクラブのアイデンティティーそのものです。

メンバー一丸となってどんな未来を切り開けるのか？ 私自身もとても楽しみになってきました。

幡南会長、先達が紡いでくれた伝統通りキャピタルクラブ全てのメンバーは会長の為に尽くします。どうぞ一年間、思いのとおりにチャレンジしてくださいませ。

国際・交流事業委員長懇談会に 参加してきました

交流委員長 田中 升啓

7月6日に京都YMCAにて開催されました、国際・交流事業委員長懇談会に幡南会長と二人で参加いたしました。京都部の多くのクラブが参加されており、現在の各クラブのDBC・IBCの詳しい状況を説明されました。それぞれのIBC締結先の各国のクラブの特徴やお国柄、交流事業時に注意する事柄等もお聞きすることができ、とても参考になりました。

今キャピタルクラブもDBCについては良好な関係が継続しておりますが、IBCが長く停滞してしまっている状況です。私自身が今までIBC事業に参加させていただいた経験がほぼ無い状態なので、他クラブの良好なIBC事業のお話を聞くと、正直「楽しそうだなあ〜」と感じました。私より後に入会したメンバーも同じくIBCの経験がほぼ無い状態です。

部長公式訪問例会

交流委員 森 常夫

今日の例会は京都部部長高田敏尚様と書記、PR委員長倉田正昭様と地域奉仕、環境事業主大槻裕樹様のキャピタル公式訪問例会で服装も正装での例会でした。

元国際会長藤井寛敏様(東京江東クラブ)のゲスト参加と今年度のSTEP参加されます仁科保雄さんの御孫様仁科皓貴マゴメット君も出席下さいましての例会で幡南会長もまだ硬さの残る会長挨拶でした。

大槻様はハンドブックに基づいて奉仕出来る方が率先して活動するワイズメンは奉仕を学ぶ所である。個人の話で知人が白血病で献血したのがワイズ活動と奉仕の原点でしたと話されました。

倉田様は毎月PR委員会を開催しますので皆さんの参加要請と各クラブ間の風通しを良くしてクラブ間の良き関係を作り個人の職業紹介をホームページに掲載する事など希望を述べられました。

高田様は三則について蝶の様に軽やかなフットワークで「楽しく無ければワイズでない」、人の立場が分かるようになる、人に対して柔らかくなる。いろんな事に参加し対人関係を構築する等自分の持論を述べられました。知識は先輩から、感性は後輩からで締めくくられました。

藤井様は東日本区会の会員が東西分かれてから30%の会員減の現状を述べられました。

仁科君は8月3日から1か月カナダへSTEP事業で研修参加されます。盛り沢山のゲスト参加の例会でした。

お客様インタビュー

大槻裕樹 様(京都部地域奉仕環境事業主)

メンバーの多い例会の良さを再認識しましたし、例会の各持場が担当分けされ、しっかりと運営されているので勉強になりました。又、クラブとして、年代層の中広い所が良いと思えました。

倉田正昭 様(京都部書記・PR委員長)

今回の部長公式訪問で3回目の訪問になります。いつも厳かで、礼儀正しい例会有難うございます。本日は楽しい例会有難うございました。

藤井寛敏 様(元国際会長)

会員の皆様が確りとしていて礼儀正しく、謙虚にYMCAとワイズに向き合い自己研鑽に励んでおられる。きちんとした服装で出席され、担当の方がテキパキと例会を運営され、ゲストスピーカーへの気遣いも行き届いていて感心しました。

仁科皓貴 様(仁科さんマゴメット)

例会にお招きいただきありがとうございます！

今回、京都キャピタルの皆様のご支援でstepとしてカナダへ一ヶ月間行かせていただくことが決まりました！心から感謝申し上げます。

この経験を通して、将来の糧となるような何かを掴めたらいいなと思っております。

一ヶ月間、頑張ってます。

今期、アジア地域大会もこの京都で開催されますので、この一年で何とかこの状況を打破する一つのきっかけを今期の交流事業で行えたらと考えております。交流事業へのご協力をよろしくお願いたします!!

私はこんな仕事をしています

「ライフプランナー」

倉見直樹

私の仕事は、お客さんがお金の面で「何かあっても大丈夫、何もなくとも大丈夫。」な状態を生命保険を通して作り出していただくサポートをすることです。

「何かあっても」というのは「家族を残して死ぬこと、がん等の病気、介護状態等」、「何もなくとも」というのは無事に老後を迎えることです。明日どうなるかもわからないのに10年先、20年先のこともなんかわかるわけがないんです。

でも、誰もが、いつか、必ずどちらかの状態になります。だからお客さんと「その時」のための準備を一緒に考えます。

ソニー生命に転職しているいる勉強しました。まだまだ勉強することは山ほどあります。

今まで勉強してわかったことは「知らないと損することがいっぱいある」でした。生命保険以外にも住宅ローン、車や火災保険、貯金のやり方、相続、知らないと損することはばかりです。お客さんと話していると、損していることも知らない方がほとんどです。自分もこの仕事をするまではそうでした。教えてくれる人がいなかったからです。

私は「教えてくれる人」になり、無駄な支出を減らし、その分を好きなことに使う、先々に向けて備えることによってより豊かな人生を過ごしてもらいたいです。限りある人生の時間を楽しんでもらえれば本当に嬉しいです。

「スキマを駆け回る」

長谷川幸昌

自転車屋です。でもパンク修理は出来ないの一般的な自転車屋失格です。

しかし、他店が「できないこと」「しないこと」「知らないこと」にニーズを見だし店を始めました。

いわゆるスキマ産業。流行のものにも手を出すこともあったのですが、結局残るのはスキマのモノ。

結果、当店ではマウンテンバイクがメインなのですが、昨今の自転車ブームでもマウンテンバイクはどこ吹く風。

爆発的にお客様が増える訳でもなく、売り上げは開業から11年経っているのにマイペース。

ただ、熱い思いを持って来店される方も多く、全国、さらには

海外からも問い合わせがあったり。

その受け皿としては引くに引けない状態。

基本はモノ(ハード)を売る商売なのですが、あわせてソフトを提供するのも当初からのポリシー。

お客様と一緒に走りに行ったり、最近ではコース作り、管理運営までも。

クワヤスコップの使い方を指導してたら自分が何屋なのか分からなくなります。

「なんでも撮れるカメラマン」

吉井崇人

カメラマンと言えば「ヌード写真撮るの?」よく言われますが撮りません。

私が撮っているのは、小学生・幼児の卒業アルバム・卒園アルバムの作成・スタジオでの撮影とか、なんでも撮影します(もちろん、依頼があればヌード写真も……)。

最近よく思うのですが、なかなかいい仕事だなと思います。

一緒に時間を過ごしてきた人との時間・経過を振り返るきっかけになったり、家族写真で思春期の子が家族から少し離れて立ってみたい、こんな記録を残している家族は素敵だと思いますし、残すお手伝いをさせてもらってる自分もなかなかいい仕事をしているなと思います。

先日、卒業していった生徒さんが将来の夢は、ヨシイさん所のカメラマンになると書いてくれた子が6人もいてくれました。凄く嬉しかったです。

ありがたいことに、父親が亡くなって母親と2人でしていた仕事でしたが、今は7人で仕事をさせてもらってます。人が増えてきて伝わらなくて、ぶん殴ってやろうかと思うことも多々ありますが、ワイズメンは平和主義者だと言い聞かせて、ニコニコ敵しい言葉を投げつけております。

子供たちが、夢と書いてくれたのでこれからもどんどん仕事を頑張っていきたいと思いますが、最低でも6人の雇用となればなかなか厳しいです。

これを読んでくれた皆様、メンバーの皆様、素敵なお仕事のご依頼をお待ちしております。これからの日本を担う子供の夢のために、媚びて媚びてこびりついていきますよ。

最後に、僕はカメラマンです。

自分の仕事なかなか気に入ってます。

リトリートセンター夏季準備ワーク

Yサ・ユース委員 菅原 縦一

6月28日(日)、“リトリートセンター夏期準備ワーク”が、メタセコイアなど新緑の木々に囲まれたリトセンで開催されました。

いよいよ幡南会長期のスタートです。いつも毎期、この日のリトセンワークで新しい期が始まります。草刈などの力作業に、大汗を流しながら、皆と一緒に作業を行う喜びを味あわせてもらっています。

今年は、グリーンチャペル、ファミテージ、食堂周り、食堂入口付近斜面と、

普段より広範囲の草刈り、そしてキャピタル30周年記念贈呈のトイレ棟の清掃を、キャピタルクラブ持ち前のチームワークで手際よくこなし、午前中に作業を終了することが出来ました。

今回のワークに



は、京都部の11クラブ、総勢101名のワイズメンが参加され、おかげで、今夏、利用される子供たち、青少年団体、福島在住の原発被災者など多くの方々の受け入れ準備が整いました。

心地良い汗をかかせていただいたことに、感謝です。皆様、お疲れ様でした。

参加者 金原、菅原、瀬本、田中(雅)、椿森、西川、西村、幡南、松井、八木、山口(雅)、山田(隆) 合計12名

サバエワーク

Yサ・ユース委員長 瀬本 純夫

第1回の7月5日午前中は薄曇りでワークにはいい天気であったのではと思っておりました。昼からは少し太陽も出てきて、結構暑く感じましたが、なんとか天気にも恵まれていたのではないのでしょうか。午前中は西サイト草刈り、枯れた



第1回参加者

松の木の伐採、リーダーたちの美味しいカレーを頂いた午後から食堂の横にテントを4張り設営。第1回のワークが終了となりました。

7月12日の第2回は、第1回のサバエワークとは打って変わり、夏の日差しの猛暑日となり、大変お疲れ様でした。

第2回は全員で担当のフレンドシップキャビンの清掃等をおこないました。キャビン一棟くらの清掃なんてすぐ終わるものと思っておりましたが、外壁の洗浄、窓の掃除、網戸の掃除、破れた網戸の張替え、布団のはたきかけ等等、結構な作業量でしたが、昼食を挟んで無事終了し、カヌー等を湖岸に運ぶ作業、枯れ松の枝の清掃と難なくこなして、終了。本当にお疲れ様でした。



6月末のリトセンと毎週連続のワークも、皆様のご参加、ご協力により無事終えることができました。心より御礼申し上げます。



第2回参加者

また、9月にもリトセンの準備ワークが行われますが、こちらの方にも多くのメンバーで参加し、楽しみながら行えればと思っております。

まだまだ今期始まったばかりですが、この一年間、Yサ事業へのご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

参加者

5日 五十嵐、石倉・メネット・コメット、亀井、香山・メネット、菅原、瀬本、幡南、森(繁)、山田(隆)

合計 12名

12日 石倉・メネット・コメット、内田、金原、左近、菅原、瀬本、田中(升)・コメット、西川、森(繁)、八木、山口(雅)

合計 14名

楽しく祇園祭のごみひろい

EMC委員 饗場 公治

去年の祇園祭のボランティアの時、すごく楽しかった記憶があったので、今回も参加しようと思ひ、ゴミ拾いのボランティアに参加させて頂きました。

15日(水)の19時に四条烏丸を北に上がった東側のりそな銀行の前に集合しました。3人くらいでグループになってくださいと言われ、八木さんと、亀井さん、大山謙一さんと一緒のグループで烏丸通の四条通から高辻通の間、四条通の烏丸通から堺町通までのゴミをひろいました。

祭りが始まったばかりなのか、それほどゴミが落ちていませんでした。人が増えてきて、そのうちみんなとはぐれて、知らない間に八木さんと五十嵐さんと三人でゴミをひろっていました。

二日目になるとゴミ袋がパンパンになってきました。5~6人の小学生の男の子達に「がんばってください」と言われ、嬉しかったです。ボランティアでいつも思っていた事なのですが、仕事もボランティアも楽しまないと続けられないと思っており、楽しいところには人は集まると思っております。

これからも楽しくやっていきたいと思ひます。足洗いには菅原さんも加わり楽しく終わりました。



参加者 饗場、五十嵐、石倉、内田、大山(謙)、金原、亀井、倉見、瀬本、西川、幡南、村田、森(繁)、八木

HAPPY BIRTHDAY

メン 西村 融正 8月26日 志田 育夫 8月30日
メネット 石村しのぶ 8月28日
コメット 椿森奈津美 8月4日

HAPPY ANNIVERSARY

田中 升啓・佳津子 ご夫妻 8月1日
藤田 浩史・裕美 ご夫妻 8月8日
岡本 尚男・都 ご夫妻 8月28日

第1回 役員会議事録

2015年7月27日(月) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉 8月28日(金) 京都部広報懇談会(於: 京都YMCA) 出席予定: 幡南会長・左近委員長・八木PR委員/アジア大会 AYCの件

〈三役会報告〉 内廣さん「奈良傳賞」受賞祝賀会の件→<PT長>菅原直前会長 秋頃に開催予定/松井陽子さん休会の件/仁科さんお見舞いの件/舞鶴ワイズメンズクラブ設立の件

〈各事業委員会報告〉

• YMCAサービス・ユース事業委員会 リトセン準備ワーク、サバエワーク(2回)の事業報告と決算報告/今後の予定について/130周年募金と東日本大震災救援、復興募金の金額報告

• 地域奉仕・環境事業委員会 『祇園祭を美しくする会』の事業報告/『ふれあい広場』について 11月3日(火・祝)/『ベテスタ祭り』について 10月12日(月・祝)に決定したが、詳細は未定

• ドライバー事業委員会 7月第1例会「総会」、第2例会「部長公式訪問」の報告/8月第1例会「アジア地域大会」、第2例会「納涼&AYC打ち上げ例会」について/9月第1例会「講師:高島寿周様(高島易断鑑定所)」、第2例会「メンバースピーチ」について

• 交流事業委員会 8月1日(土) 東京クラブ及び台北アルファクラブとの懇親会について/2016年4月2日(土) DBC例会について/仁科さんマゴメット STEP参加について

• ファンド事業委員会 お花ファンド、お得ファンド、お楽しみファンドについて/じゃがいもの販路拡大のためのチラシ作成について/アジア地域大会での物品販売について

• 広報・ブリテン事業委員会 8月号、9月号の骨子について

• EMC事業委員会 出席率の報告について/12月第1例会「EMCアワー」について/YES献金について

〈審議事項〉

松井陽子さん休会の件 休会承認 減免額は改めて審議する
仁科さんお見舞いの件 慶弔費より支出することを承認

〈その他〉

第2回三役会 8月21日(金)19:00~ 於:未定

第2回役員会 8月25日(火)19:00~

於:ウェスティン都ホテル京都 平安の間

編集後記

まだまだ不慣れな事ばかりでご迷惑をお掛けしておりますが、今期第2号をお届けでき皆様に感謝です。

来月号はアジア地域大会・AYCの特集号となります。皆様、どうぞご協力の程よろしくお願い致します。 広報・ブリテン委員長 左近 宏崇

